

(様式1)

## 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立鳥取工業高等学校

重点項目	地域連携	提出日	令和4年4月28日
------	------	-----	-----------

1 学校目標
『地域を支える人財（材）、技術者の育成』 技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。
2 重点項目に係る目標
(1) 学力の向上 ア 授業改革と学力の向上 イ 主体的な学習態度と実践力の向上 (2) 豊かな人間性の育成 ア 互いを尊重する態度と社会性の涵養 イ 健全な心身と社会貢献精神の育成 (3) キャリア教育の充実と進路実現 ア 専門的な知識・技術の習得 イ 勤労観・職業観の育成と進路指導の徹底 ウ 地域や産業界との連携強化  <数値目標> (1) 中学校等で行う出前授業に参加した小学科の実施回数が、延べ20回 (現状：令和3年度実績7回（コロナ禍により中止が相次いだ）) (2) 地域の高齢者宅等を訪問するテクノボランティアへの参加生徒数が、20名以上 (現状：令和3年度実績13名)
3 事業計画（事業名、事業概要）
【高等学校課事業】 ・学校連携チャレンジ・サポート事業 鳥取湖陵高校、鳥取商業高校、智頭農林高校と連携して、専門高校の教育内容を発信。各校の生徒が地域住民や小中学生に各校の専門性を直接アピールすることにより、専門教育の魅力と将来の地域産業を担う意欲を育成する機会とする。

**【独自事業】**

(1) 授業改革・学力向上事業

・地域支援による学力向上学習会

地域の人材を地域で育てることを意識し、鳥取環境大学を含めた周辺地域へ呼びかけ、希望する本校生徒に対して、放課後あるいは長期休業中に学習内容や資格取得対策へのサポートをお願いすることで、様々な学力の生徒に対する支援を行い、個々の生徒に適した学力の向上及び資格取得を実現する。

(2) 豊かな心育成事業

・テクノボランティア

近隣の高齢者住宅や社会福祉施設等を訪問して、電気製品等の簡易な修理や清掃等を行うことで、自己肯定感を高め、地域社会の一員としての自覚を深めることができる。

(3) 地域連携推進事業

・鳥工テック

各科の日頃の学習成果を地域の小・中学生や一般の方々へ発表する。実習棟を中心に行い、生徒は企画・実践・表現する力を高め、地域の方々には本校や工業についての理解を深め、興味関心を高めてもらうことができる。

・中学生体験入学

中学生が本校の工業各科の学びや部活動を参観・体験することで、本校の魅力や「ものづくり」の楽しさを体感し、本校への進学が魅力的な選択肢であることを理解してもらう。

・出前授業「工業っていいかも」

工業各科の教員が中学校に出向き、技術・家庭科及び理科等の関連分野の授業を行って学習支援をする。可能であれば、本校生徒も講師として参加することを想定している。このことで、中学生のものづくりへの興味関心を高めるとともに、工業高校を高校進学における魅力的な選択肢として考えてもらい、技術立国である日本の将来を担う人材育成につなげる。

・傘踊りロボット実演

ふるさと鳥取の風物詩である「しゃんしゃん祭り」に、課題研究等で製作した「自動演奏すずっこロボット」「傘踊りロボット」を出展し、地域振興の一翼を担う。

・地域開放講座

校内または対象とする小学校あるいは近隣施設において、生徒が講師となって講座を開設する。講座の内容は各科の特色を活かしたものづくり全般及びドローンプログラミング教室を想定している。

・地域企業連携（テクノヒルズ加盟）

鳥取県東部における技術力の高いテクノ集団である『鳥取テクノヒルズ』に加盟し、会員間での産官学連携による研修会や意見交換から、産業界の実態や今後の技術革新の方向性あるいは鳥取を支える工業分野の将来構想を知り、本校の新しい工業教育の在り方を探る。また、地域を支える人材育成を地域と共に行う。